

# オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

## オール・ベートーヴェン プログラム

甲府 初公演

ベートーヴェン：

「プロメテウスの創造物」序曲

交響曲 第4番 変ロ長調 op.60

交響曲 第7番 イ長調 op.92

### 広上 淳一

指揮/OEKアーティストック・リーダー

Junichi Hirokami

Conductor/OEK Artistic Leader



オーケストラ・  
アンサンブル金沢

Orchestra  
Ensemble Kanazawa



甲府公演 | YCC県民文化会館 大ホール  
甲府市寿町26-1 (山梨県立文化ホール)

2025年3月23日 | 日 | 開演14:00  
開場13:15

全席指定(税込) | 一般5,000円 / 学生(大学生以下) 2,500円

チケットのお申込み

YCC県民文化ホールチケットセンター  
(電話・窓口)TEL.055-228-9131

チケットぴあ……………Pコード 286-621

ローソンチケット……………Lコード 35471

※未就学児の入場はご遠慮ください

主催 | (公財)石川県音楽文化振興事業団 共催 | アドブレン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問合せ：オーケストラ・アンサンブル金沢

TEL.076-232-0171 <https://www.oek.jp>

時空を超えたオーケストラの名曲をはつらつとした表情で奏で、歌い、発信する。いついかなる場面でも、私たち聴きてに想いを寄せ、寄り添う。広上淳一と〈オーケストラ・アンサンブル金沢、OEKの3レターでも親しまれている〉への賛辞が尽きない。内外のオーケストラから客演のオファーが絶えない指揮者広上淳一が、名手揃いのOEKのアーティスティック・リーダーに就任したのは2022年秋。それ以前から愛すべきパートナーシップを発揮していたが、ここへ来て彼らは、ステージで素晴らしい演奏を披露するだけでなく、音楽、社会、地域、聴きての環や近未来を意識した活動を展開するようになった。今も、これからも音楽とともに。オーケストラは街の公園、心のレストラン。いずれも広上が好む言葉だ。

このコンビ、ウィーン古典派交響曲の美しいフォルムも劇的高揚もお任せあれのベートーヴェンがとくに素晴らしい。今回の交響曲第4番、第7番はいずれもコンサートのメインディッシュに相応しい名曲にして、広上がデビュー以来、ここぞという場面で指揮してきた彫りの深い逸品である。声高に申すまでもなく人気交響曲だが、広上とOEKの「響宴」は、初めてこれらのシンフォニーを聴いたときの驚き、喜びを思い出させてくれるのではないか。

これぞライブ。これがオーケストラ！

体感しない手はない。

(文=奥田佳道/音楽評論家)



## 広上 淳一

Junichi Hirokami

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響、京都市響のポストを歴任。フランス国立管、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。オペラの分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

## オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督(永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。オーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、ワーナーミュージックジャパン、エイベックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。07年より18年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、18年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務める。22年9月より広上淳一がアーティスティック・リーダーを務める。

